

★ 第 124 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2012 年 12 月 22 日（土）～12 月 23 日（日）

会場：久留米大学 500 号館 51A 教室

(〒839-8502 福岡県久留米市御井町 1635)

※持ち時間は自由報告 30 分(報告 20 分:質疑 10 分)、特別部会は 20 分(質疑なし)です。レジュメや資料は 40 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクター、DVD、ビデオが使えます。

12 月 22 日(土)

編集委員会 12:00～14:45 (500 号館 512 教室)

開 会 12:55

自由報告部会 I 差異と社会関係 (13:00～15:30) 司会：高野 和良 (九州大学)

1. “The Influence of Guanxi on Income Inequality in Two Chinese Cities”

Li Shuanglong (Kyushu University)

2. 「条件不利地域における I ターン移住者と地域活動の可能性

一島根県石見地方の市町村を事例として一

松村 武 (広島大学)

3. 「食と農及び食品流通等に関する一考察」

堀口 彰史 (熊本大学)

4. 「他者と歓待をめぐって」

大山 智徳 (九州大学)

5. 「沖縄県における震災避難者と支援ネットワークの現状」

高橋 征仁 (山口大学)

=Coffee Break (20 分) =

特別部会 鈴木社会学の継承と発展 (15:50～18:20) 司会：三隅 一人 (九州大学)

1. 「都市と地域の社会学」

篠原 隆弘

2. 「流動型社会論の功罪」

三浦 典子

3. 「コミュニティ研究にみる総合社会学の精神」

金子 勇 (北海道大学)

4. 「鈴木社会学と宗教」

谷 富夫 (甲南大学)

5. 「台湾における地域福祉推進のための実践方法の課題—コミュニティワークから

コミュニティソーシャルワークへの転換の必要性と方向性—

莊 秀美 (東吳大學人文社會學院)

コメンテーター：鈴木 広

懇親会 (18:40～) 会場：「食堂 彩」800 号館 (御井メディアセンター) 2 階

(会費：有職者 5,000 円、非有職者 3,000 円)

12 月 23 日(日)

自由報告部会 II 生活と労働 (9:30～12:45) 司会：田中 マキ子 (山口県立大学)

1. 「女たちが創るムラ社会—福岡県八女市白木地区の事例—」

橋上 実穂 (熊本大学)

2. 「都市高齢者の社会参加活動—ふれあいいいききサロンを元に—」

玲 玲 (九州大学)

3. 「企業における内外配慮としての貢献概念」

持松 志帆 (西南学院大学)

=Coffee Break(15分)=

4. 「個別ケアとバーンアウト—感情労働論および表情共振論の仮説検証—」
石橋 潔 (久留米大学)
5. 「多層的インターフェイスとしての臨床介護福祉研究支援—SCC 実践の中間報告—」
矢原 隆行 (広島国際大学)
6. 「交替制勤務者の就労と時間意識」
辻 正二 (保健医療経営大学)

閉 会 12:45